

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【公表番号】特表2009-504149(P2009-504149A)

【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-525615(P2008-525615)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/35 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/04 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/35 Z N A

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/12

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 31/04

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/04

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ahpCポリペプチド配列、gsdポリペプチド配列、p12ポリペプチド配列およびmpaポリペプチド配列を含むポリペプチドであって、

該ahpCポリペプチドは、配列番号 2 の配列、配列番号 2 の全長にわたって配列番号 2 に対して70%を超えるアミノ酸配列同一性を有するその変異体、またはエピトープを含む配列番号 2 の少なくとも8アミノ酸の断片、を含み；

該gsdポリペプチドは、配列番号 6 の配列、配列番号 6 の全長にわたって配列番号 6 に対して70%を超えるアミノ酸配列同一性を有するその変異体、またはエピトープを含む配列番号 6 の少なくとも8アミノ酸の断片、を含み；

該p12ポリペプチドは、配列番号 10 の配列、配列番号 10 の全長にわたって配列番号 10 に対して70%を超えるアミノ酸配列同一性を有するその変異体、またはエピトープを含む配列番号 10 の少なくとも8アミノ酸の断片、を含み；ならびに

該mpaポリペプチドは、配列番号 14 の配列、配列番号 14 の全長にわたって配列番号 14 に対して70%を超えるアミノ酸配列同一性を有するその変異体、またはエピトープを含む配列番号 14 の少なくとも8アミノ酸の断片、を含み、

該ポリペプチドがヒトおよび動物においてマイコバクテリウム・アビウム亜種パラツベルクローシス (MAP) に対する治療的または予防的免疫応答を誘導することができる、前記ポリペプチド。

【請求項 2】

該ahpCポリペプチドが配列番号 4 に記載のアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 3】

該gsdポリペプチドが配列番号 8 に記載のアミノ酸配列を有する、請求項 1 または 2 に記載のポリペプチド。

【請求項 4】

該p12ポリペプチドが配列番号 12 に記載のアミノ酸配列を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 5】

該mpaポリペプチドが配列番号 16 に記載のアミノ酸配列を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 6】

該mpaポリペプチドがアミノ酸配列GFAEINPIAを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 7】

配列番号 4、8、12 および 16 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 8】

配列番号 24 に記載のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。

【請求項 10】

以下のものを含む、請求項 9 に記載のポリヌクレオチド：

(a) 配列番号 1 のahpCポリヌクレオチドもしくは配列番号 1 の全長にわたって配列番号 1 に対して少なくとも70%のホモロジーを有するその変異体、またはエピトープをコードする配列番号 1 の少なくとも24ヌクレオチドの断片；

(b) 配列番号 5 のgsdポリヌクレオチドもしくは配列番号 5 の全長にわたって配列番号 5 に対して少なくとも70%のホモロジーを有するその変異体、またはエピトープをコードする配列番号 5 の少なくとも24ヌクレオチドの断片；

(c) 配列番号 9 のp12ポリヌクレオチドもしくは配列番号 9 の全長にわたって配列番号

1 に対して少なくとも70%のホモロジーを有するその変異体、またはエピトープをコードする配列番号9の少なくとも24ヌクレオチドの断片；ならびに

(d) 配列番号13のmpaポリヌクレオチドもしくは配列番号13の全長にわたって配列番号1に対して少なくとも70%のホモロジーを有するその変異体、またはエピトープをコードする配列番号13の少なくとも24ヌクレオチドの断片。

【請求項11】

該ahpCポリヌクレオチドが配列番号3に記載の配列を有する、請求項10に記載のポリヌクレオチド。

【請求項12】

該gsdポリヌクレオチドが配列番号7に記載の配列を有する、請求項10または11に記載のポリヌクレオチド。

【請求項13】

該p12ポリヌクレオチドが配列番号11に記載の配列を有する、請求項10～12のいずれか一項に記載のポリヌクレオチド。

【請求項14】

該mpaポリヌクレオチドが配列番号15に記載の配列を有する、請求項10～13のいずれか一項に記載のポリヌクレオチド。

【請求項15】

配列番号3、7、11および15の核酸配列を含む、請求項10に記載のポリヌクレオチド。

【請求項16】

配列番号24に記載の核酸配列を含む、請求項10に記載のポリヌクレオチド。

【請求項17】

請求項9～16のいずれか一項に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項18】

請求項1～8のいずれか一項で規定されるahpCポリペプチド、gsdポリペプチド、p12ポリペプチドおよびmpaポリペプチドを発現可能なベクター。

【請求項19】

ポックスウイルスベクター、アデノウイルスベクターまたはプラスミドである、請求項17または18に記載のベクター。

【請求項20】

請求項1～8のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項9～16のいずれか一項に記載のポリヌクレオチドまたは請求項17～19のいずれか一項に記載のベクターを含む宿主細胞。

【請求項21】

請求項1～8のいずれか一項に記載のポリペプチドを発現可能な宿主細胞。

【請求項22】

請求項1～8のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項9～16のいずれか一項に記載のポリヌクレオチド、請求項17～19のいずれか一項に記載のベクターまたは請求項20もしくは21に記載の宿主細胞を含む、MAP感染またはMAP感染と関連している状態もしくは症状を治療または予防するための薬剤。

【請求項23】

腸の慢性炎症、炎症性腸疾患、過敏性腸症候群、慢性腸炎、ヨーネ病またはクローン病を治療または予防するための、請求項22に記載の薬剤。

【請求項24】

治療対象の個体に、MAPに対抗する活性を有する追加の治療物質または、MAP感染と関連している状態の治療に使用される追加の治療物質をさらに投与する、請求項22または23に記載の薬剤。

【請求項25】

MAP感染またはMAP感染と関連している状態もしくは症状の治療または予防に使用するた

めのキットであって、(i) 少なくとも1つの、請求項1～8のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項9～16のいずれか一項に記載のポリヌクレオチド、請求項17～19のいずれか一項に記載のベクターまたは請求項20もしくは21に記載の宿主細胞および(ii) 同時に、連続して、あるいは別々に使用するための少なくとも1つの他の治療物質、を含む前記キット。